

商品名 水性サンディングシーラー

品名 合成樹脂塗料

成分 合成樹脂(アクリル・ウレタン)・水

特長

研磨性・速乾性を持ち、研磨することで平滑な面を形成し、上塗り塗料の仕上がりをより良いものにします。

用途

屋内の木部・木製品の水性・油性ニス仕上げの際の下塗り用。乾えず水がかかったり、水につかるところや、いつも湿っているところには適しません。ピアノ、美術工芸品、高級家具(桐の家具等)、自動車、油加工(ロウ仕上げやワックス)、化粧合板などには使用しないで下さい。

塗装方法

下地処理は裏面の下地処理の注意に従って下さい。

①塗る面のゴミ・油分・サビ・カビ・ヤニ・ワックスなどを取り除き、十分に乾燥させます。
②本品がついて困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。(本品は浸透性が良いため、マスキングテープの端から本品がにじむことがあります)③着色する場合は、あらかじめステイン等を塗装します。
④容器ごと振り混ぜ、中身を均一にします。容器の中ぶた等に付着・乾燥した塗膜は取り除いて下さい。⑤必要量をペイントレイやペイントスプレーに移します。⑥ニス・ステイン用ハケを使用して、木目にそって塗り広げます。広い面には短毛ローラー/ハケやペイントスプレーが使用できます。⑦表示にある塗り重ね時間の目安以上乾かしてから#320~400程度のサンダーペーパーで木目にそって研磨します。⑧研磨くずはハケやウェスなどで除去します。水で濡らし固く絞ったウェスなどで除去すると研磨くずが飛散しにくくなります。⑨研磨くずを取り除いた後、さらに表面を平滑にする場合は、木目にそって塗り広げ、乾いてから#320~400程度のサンダーペーパーで木目にそって研磨する作業を繰り返します。⑩本品は下塗り用です。必ず用途にあった上塗りをして下さい。⑪マスキングテープは、本品が手につかなくなったらがします。

用具の手入れ方法

本品が乾かないうちに、水が湯で洗って下さい。

アサヒペン

透明(クリア)

研磨しやすく、平滑に仕上がる

水性 サンディング
シーラー

用途 屋内の木部・木製品の水性・油性ニス仕上げの際の下塗りに。その他塗料の下塗りに。



塗装用具は水で洗って下さい。



0.7L



標準塗り面積(1回塗り)
7.0~9.1㎡
タタミ4.2~5.6枚分



乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間



塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

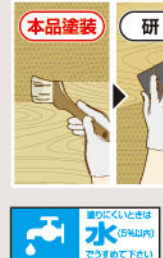
アサヒペン

透明(クリア)

研磨しやすく、平滑に仕上がる

水性 サンディング
シーラー

用途 屋内の木部・木製品の水性・油性ニス仕上げの際の下塗りに。その他塗料の下塗りに。



標準塗り面積(1回塗り)
7.0~9.1㎡
タタミ4.2~5.6枚分



乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

下地処理の注意

フレハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

【旧塗膜をはがす場合】

①すでにある塗膜は、研磨するなどして完全に取り除きます。②塗る面の汚れやワックスを取り、油分やヤニはラッカーうすめ液で拭き取ります。③塗装面全体を、木目にそって#240程度のサンドペーパーを使用してきれいにします。

【旧塗膜を残す場合】

①旧塗膜の汚れをウェスなどでよく落とし、②あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、乾燥性・下地への影響・密着性等を確認します。③すぐにはがれる場合や異常がある場合は、旧塗膜をはがして下さい。はがせない場合は使用できません。

保管上の注意

①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところには置かないで下さい。③残った塗料はしっかりとキャップをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

救急処置

●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●眼で飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱上の注意

①表示の用途以外に使用しないで下さい。また、食器など直接口に触れるものや、犬小屋や鳥かご、その他ペットなどがなめたり、かじったりするような木部には使用しないで下さい。②体調が悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。③塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。④目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。皮膚に付着したまま放置すると、炎症を起こすことがあります。必ず皮膚に触れないように保護手袋を着用して下さい。⑤使用している原材料の影響で塗装後もしばらくの間は臭気が残ります。塗装中、乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。⑧ヤニやアークの多い下地に塗装した場合、乾燥が著しく遅くなることや乾かないことがあります。⑨ヤニのある箇所は、ラッカーうすめ液でヤニを充分拭き取って下さい。⑩ヤニやアークを含む下地に塗装しますと塗膜にシミやべたつきが出てきます。必ず、アサヒペン塗膜浸透性水性シーラーを下塗りして下さい。⑪塗り面積・乾燥時間は、素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。特に、木口など吸い込みの多い部分は、多くの塗料が必要です。⑫生木や乾燥が不十分な木材には塗装しないで下さい。はがれ、白化等の原因になります。また、ラッカー系の上塗り塗料は厚く塗ると下地を害する恐れがあります。うすく塗って下さい。⑬一度に厚塗りしたり、水でうすめると乾燥に長期を要する場合があります。⑭容器は塗料を使い切ってから捨て下さい。やむをえず塗料を捨てるときは、アサヒペン水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。⑮落下させると、中身が漏れることがあるので取扱いに注意して下さい。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300



キャップ: プラスチック(PP)
中ぶた: プラスチック(PE) 日本製
容器: プラスチック(PE) 00-1709